

臨時で燧灘においてプランクトン調査を行いましたのでお知らせします。

【概況】

- ・ シャットネラ・アンティカとオバータがみられました。シャットネラ・オバータは前回の燧灘の調査(8/4)からは減少しているものとみられます。
- ・ カレニア・ミキモイについて、注意すべき細胞数に達している観測点がありました。

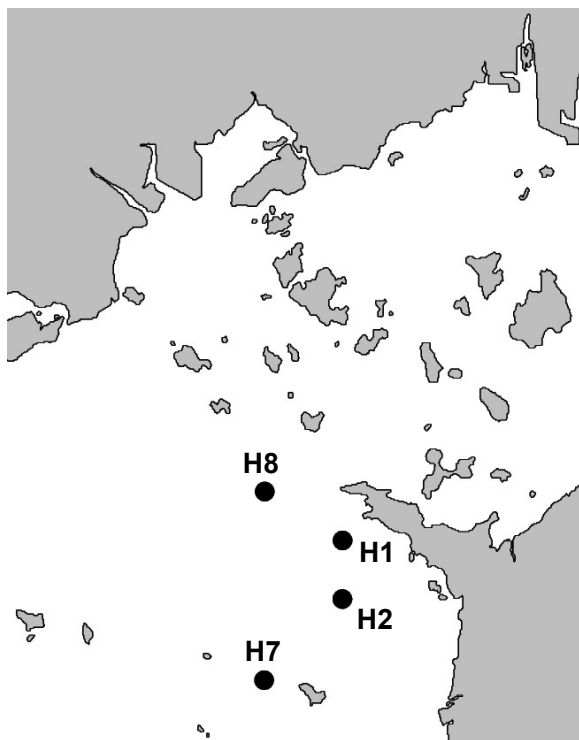
表：有害・有毒プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・ アンティカ	シャットネラ・ マリーナ	シャットネラ 2 種合計	シャットネラ・ オバータ	カレニア・ ミキモイ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス
H8	2	1.7	0	1.7	2.7	23.0	0
H7(KA16)	2	5.0	0	5.0	2.0	1.0	0
H2(KA15)	2	12.0	0	12.0	4.7	0	0
H1	2	1.3	0	1.3	0	0.7	0

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:吉田・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課豊かな海づくり・漁港整備グループ(担当:澤田・秋山) 電話 087-832-3470



今回調査点